

石川四高記念文化交流館中期経営目標取組状況(令和元年度)

中期経営目標(実施期間 H30～R4)

- ① 年間入館者を5年間で8%増加させます。
- ② 近代文学館の年間利用者数を5年間で15%増加させます。
- ③ 利用者アンケートによる満足度を95%以上に引き上げ維持します。
- ④ 利用者一人あたりの一般財源投入額を5年間で8%削減します。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値	実績値(R1)	中間目標値(R2)	最終目標値(R4)
① 入館者数	184,076人	201,861人	192,500人	200,000人
② うち近代文学館の入館者数	21,409人	25,476人	23,000人	25,000人
③ 利用者満足度	93%	98%	95%以上	95%以上
④ 利用者一人あたりの一般財源投入額	200円	195円	192円	185円
⑤				

2 令和元年度における主な取組内容

(1)施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取組

- ① 石川四高記念館
 - ・多目的利用室の利用を促進するため、金沢市及び近郊の文化、経済、産業の各団体や県内の各種文化団体にパンフレット及び多目的利用室の案内を配布しました。
 - ・また、校外活動の利用を促進するため、北陸三県の小学校、中学校、高等学校にパンフレットを配布しました。
 - ・市内のホテルや、近隣の文化施設等にパンフレットを配布し、広報活動に努めました。
 - ・ミュージアムコンサートを実施することによって、今までと違う客層の取り込みを図りました。
- ② 石川近代文学館
 - ・話題性のある企画展を実施したほか、作品解説について文字を大きくすることや、展示方法についても造形物を用いるなど創意工夫をこらしました。
 - ・集客力のある著名人を招いた講演会等のイベントを開催しました。
 - ・朗読会について、年10回開催しました。
 - ・ナイトギャラリーを、観光客や人出が多くなるゴールデンウィーク期と6月末から10月にかけての4ヶ月間実施しました。

(2)施設運営の効率化に向けた取組

- ・天候や多目的利用室の利用状況により、冷暖房の停止や消灯をこまめに行い、光熱水費の節減に努めました。

(3)その他の取組 (1)、(2)以外の取組があれば記載

- ・開館当初から「意見箱」を設置し、館に対する意見を自由に記入していただき、館の運営の参考としてきたほか、平成21年度からアンケートを実施し、利用者ニーズを踏まえ、ミュージアムグッズの充実等を行いました。

3 令和2年度における取組内容の見直し等

これまで年3回、3～4ヶ月毎の企画展を3つの展示室を使って行ってきたが、展示替えの際には常設展しか見られず、集客が減少する傾向があった。そこで、1室で年間を通したテーマの企画展を行いながら、残り2室で例年どおり3回の企画展を行うこととし、年4回の企画展を行うこととした。これにより、企画展の開催日数はH31年度より47日増加することとなり、集客増加に努める。